

新葛巻病院物品購入費が増加

江刈地区水道完成へ追い込み

7月定例会議

7月定例会議は7月6日から17日までの12日間の日程で行われました。

町長から提出された議案は29年度葛巻病院事業会計と水道事業会計の決算認定や30年度補正予算など17件が、すべて全議員の賛成で原案どおり『決定』しました。

一般質問では1名の議員が登壇し町の対応や考えをたえました。本会議では全議員が沖繩の「かりゆしウエア」を着用して議会に臨みました。



整備工事が進む 江刈地区水道（泥這地区）

監査委員の意見

29年度決算は赤字決算となり累積欠損金が増加しました。新病院建築に係る物品購入等の費用増加や患者数の減少が主な要因です。

待望の新病院が完成し外来・入院環境が改善されました。近代的医療機械が整備されるなど高度な医療体制が構築され住みよい町づくりに大きく前進しました。地域医療の充実に向けた取り組みを最大限発揮することを望みます。

水道会計

29年度決算は事業収益1億5594万円に対し事業費用が1億9168万円で3574万円の純損失を計上し赤字決算となりました。

建設改良工事では五日市地区から中村地区までの江刈地区水道整備事業を行い老朽施設の更新に努めました。

監査委員の意見

29年度は複式簿記の地方公営企業会計適用の初年度であり資産の減価償却費が8574万円で

**29年度
病院会計・
水道会計決算
認定**

病院会計

29年度決算は事業収益10億7062万円に対し事業費用が12億5293万円で1億8231万円の純損失を計上し赤字決算となりました。これにより累積欠損金が6億54万円の増加しました。

病院経営では禁煙外来、睡眠時無呼吸症候群の診療、訪問診療、フットケア外来や糖尿病教室を継続するなど、医療サービス向上に取り組みました。

9月1日に新病院に移

29年度水道事業会計決算状況 (税抜き)

区分	29年度
事業収益(a)	1億5594万円
事業費用(b)	1億9168万円
純損益(a)-(b)	△3574万円
年度末累積欠損金	3574万円

※29年度から地方公営企業会計となりました。

あったことが赤字の大きな要因です。当町は面積が広い、配管の総延長距離が長く、浄水施設が多くなっています。

水道事業は住民生活に欠かせないライフラインであり火災発生時は消火活動の水利として、災害発生時は被災者等への緊急給水支援として重要な役割を担っており極めて公共性が高い事業であることから安定的な給水事業経営を望みます。

29年度病院事業会計決算状況 (税抜き)

区分	29年度	28年度	前年対比
事業収益(a)	10億7062万円	10億3940万円	3.0%
事業費用(b)	12億5293万円	8億7922万円	42.5%
純損益(a)-(b)	△1億8231万円	1億6018万円	△213.8%
年度末累積欠損金	6億554万円	4億2323万円	43.1%

転し、当初は新たな医療システム導入などにより診療に時間がかかりましたが、年度内には順調に運用できるようになりました。

常任委員会

輝くふるさと常任委員会（鈴木満委員長）は7月10日に病院事業会計決算と水道事業会計決算を審査しました。主な質疑は次のとおりです。

待合室 葛巻病院

飲料水 飲料水提供は、ウォーターサーバーの設置は安全管理面で難しいが、それ以外の方法を院内で検討していく。

江刈地区水道 建設水道

問 江刈地区水道の完成見通しは。

答 今年度完成を目標としているが、災害復旧工事などにより完成時期に影響があるかもしれない。